



やいづ 未来へつなぐ

No. 183  
2026.5.15  
2月 定例会

# 議会だより

## 特集 第4回議会報告会 焼津中央高校 ⇄ 市議会



### ここに注目!

- 特集：第4回議会報告会…………… 1
- 2月定例会概要…………… 3
- 市政をただす！代表質問・一般質問…… 6
- 各委員会の議案審査…………… 16



# 第4回「議会報告会&意見交換会」

## 焼津中央高校

## 生徒の皆さん

令和7年10月11日、市役所7階で、市政や市議会に関心を持っていただくため、焼津中央高校の

「中・高・大連携授業」の一環として、「議会報告会&意見交換会」を開催しました。

当日は、焼津中央高校の生徒の皆さん及び中学生と大学生の皆さんの合計21名と議員が参加しました。

## 第1部 議会から

まず、説明者の議員から、市役所と市議会の仕組みと役割について、説明しました。

—日本国憲法と地方自治法や市の条例に基づいていること、地方議会は、議員と首長（市長）を直接選挙で選ぶ二元代表制であり、国会の議員内閣制とは異なる仕組みであること、市役所は、様々な事業を実行する機関で、市議会は、市の仕事をチェック・評価したり、予算やルールを決め、決算を審議する機関であること—

議会の具体的な仕事については、市の提案した条例案や予算案を審査し、賛成や反対を決めること、市へ政策提言を行っていること、国や県への意見書の提出、市民の要望や意見を請願・陳情として受け付け、調査・審査して市政に反



議会について生徒の皆さんから寄せられた質問に対し、議会報告会実行委員会の委員長がお答えしました。

映していること、また、年4回の本会議や、常任委員会や特別委員会などや議員報酬についても説明して、議会のことをもっと知るためには、議会の傍聴や議会だよりを見ること、公開されている映像配信や会議録を見ることができると説明しました。

生徒の皆さんからの、本会議のない時にはどんなことをしているか、議員になるにはどうすれば良いのか、などの質問に対して、議会報告会実行委員会の委員長がお答えしました。

## 第2部 生徒の皆さんと議員の意見交換

次に、A B C Dの4つの班に分かれて、意見交換会を開き、「これからのまちづくり」について意見交換をしました。

**A班** 「地元に戻ってきたくなる街づくり」(Uターン施策、地元魅力発見等)

人と繋がるあたたかい街について、若者がくつろげたり、地域の人と交流できる学習スペースやカフェがある街、商業施設を誘致して雇用を創出してほしい。

安心安全な街については、交通網の充実、道路標識の整備、災害に備えた安心な街、LINEを使って市民に情報伝達、スクールバスの導入の意見が出されました。観光については、駅や駅前を整備で活性化しにぎやかにすること。魚だけでなく、果物・野菜など自慢できること、歴史的建造物



議会報告会の参加者の集合写真。今回の議会報告会は、市役所7階の議場及び委員会室で行われました。

の再開発で観光地化をとの意見がありました。



A班の意見交換の様子

### **B班** 「防災」(防災訓練・教育、災害時対応・ボランティア等)

防災訓練について、多様な状況を想定した訓練の実施、避難後の生活を見据えサバイバルキャンプなど若い世代が参加できる実践的プログラムの導入、市の防災対策をSNSや学校連携など多様な手段で若い世代へ周知、水とトイレなどの備蓄を促す支援・啓発の強化、被災者への支援金・補償基準の見直しで小規模被害に対しても手厚い支援をする制度の充実について意見が出されました。



B班の意見交換の様子

### **C班** 「文化ゆたかな街づくり」(文化教育、文化資源活用等)

文化について、参加する行動と気持ちが大事で、興味を持ってもらうイベントなどの場が多くあると良い、自分たち若者が企画運営・発信等をしてみたい。魚文化を伝えていくためには、体験型イベントの推進などトータル



C班の意見交換の様子

的に楽しめるようになること、温泉や観光も総合的にアピールして、魚文化と相乗効果を図ることが良い。

### **D班** 「地域活性化」(観光交流、市民間交流、国際交流等)

外国人との共生について、地域のイベントに参加し、ルールを楽しみながら覚えることで地域との交流も図れ、地域の活性化にも繋がる。

商店街の活性化について、若者のニーズに合う店舗の誘致や閉店舗の貸借も考えられる。

観光客の誘致について、インバウンド需要に応える古民家や街のストーリーが必要だ。食や祭りなどアピールし、観光客が住みたくなるような活動をしていきたい。

## グループごと発表

最後に、参加した生徒の皆さんから議場で各班の報告。また、終了後のアンケートにも丁寧に答えられました。

議員一同、これからも皆さんらのご相談やご意見をお待ちしています。



D班の意見交換の様子



班ごとに工夫を凝らした発表の様子

## 定例会 概要

# 令和8年度当初予算案総額1305億6772万円

## 議案審査を経て全て可決！



令和8年2月定例会  
議案等審議結果

市議会2月定例会は、2月16日から3月19日までの32日間の会期で開かれ、市長提出議案38件、議員提出議案3件を審議し可決。また、市長報告事件2件、監査委員報告4件が了承されました。

### 2月16日 本会議第一日

- ・副議長の選挙
- ・条例改正1件を可決（議員提出）
- ・議会運営委員会、議会改革検討特別委員会、やいづ市議会広報特別委員会の委員の定数の変更及び委員の選任
- ・志太広域事務組合議会議員の選挙
- ・人事案件4件を上程し、同意（市長提出）
- ・市長専決処分による報告（承認案件）1件を上程し、承認

- ・令和7年度補正予算8件（一般会計1件、特別会計5件、企業会計2件）を上程（市長提出）
- ・令和8年度当初予算12件（一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件）を上程（市長提出）
- ・条例案件8件を上程（市長提出）
- ・一般案件1件を上程（市長提出）

### 2月19日 各委員会の議案審査

- ・各委員会で付託された議案を審査（P16～18参照）

### 2月24日 本会議第二日

- ・2月16日に上程された補正予算8件の委員会審査結果報告を経て、全て可決

### 3月4日・5日・6日 本会議第三日・四日・五日

- ・代表質問4議員、一般質問10議員（P6～15参照）
- ・条例案件1件を追加上程（市長提出）
- ・議会運営委員会の委員の補充選任

### 3月9日・10日・17日 各委員会の議案審査

- ・各委員会で付託された議案を審査（P16～18参照）

### 3月19日 本会議第六日

- ・2月16日及び3月6日に上程された22議案の委員会審査結果報告及び討論を経て、全て可決（P4・5参照）
- ・令和7年度補正予算2件（一般会計1件、特別会計1件）、令和8年度補正予算1件（一般会計1件）を追加上程し、委員会審査を経て、全て可決（市長提出）
- ・焼津市議会の委任による長の専決処分事項についての一部改正を可決（議員提出）
- ・意見書1件を採択し国へ送付（議員提出）（P15参照）

## 主な議案の審議結果



### 焼津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の改正に伴い、国民健康保険税につき、新たに子ども・子育て支援納付金課税額を創設し、その算定方法を定めることその他所要の改正を行うもの

賛成多数原案可決



### 令和8年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計予算案

27億2,090万円

賛成多数原案可決



### 令和8年度焼津市一般会計予算案

722億2,700万円

賛成多数原案可決



### 令和8年度焼津市水道事業会計予算案

収益的支出

23億3,197万8千円

資本的支出

22億9,572万8千円

賛成多数原案可決



### 焼津市水道事業供給条例の一部を改正する条例の制定について

老朽管の耐震化、水源井戸の更新等安定的な供給を行うために必要な事業を継続するとともに、将来にわたって健全かつ持続可能な経営を確保するため、水道料金を改定しようとするもの

賛成多数原案可決



### 令和8年度焼津市介護保険事業特別会計予算案

136億4,720万円

全会一致原案可決



### 焼津市地域交流センター条例の一部を改正する条例の制定について

新たな豊田地域交流センターの供用開始に伴い、センターの位置の変更並びに会議室等の区分及び使用料を改定しようとするもの  
(画像) 完成イメージ図(焼津市HPより)

全会一致原案可決



### 令和8年度焼津市公共下水道事業会計予算案

収益的支出

19億1,986万5千円

資本的支出

16億59万8千円

全会一致原案可決



### 令和8年度焼津市病院事業会計予算案

収益的支出

157億6,143万円

資本的支出

28億9,972万5千円

全会一致原案可決

## 議案41件中、賛否が分かれた議案の採決状況

(○印は賛成、×印は反対 村松幸昌議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。)

議案名		議決結果	四之宮慎一	鈴木まゆみ	井出哲哉	藤岡雅哉	村田正春	原崎洋一	吉田昇一	奥川清孝	内田修司	増井好典	河合一也	石田江利子	村松幸昌	川島要	杉田源太郎	岡田光正	秋山博子	池谷和正	鈴木浩己	深田ゆり子	
市長提出議案	議第1号	令和8年度焼津市一般会計予算案	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	
	議第4号	令和8年度焼津市国民健康保険事業特別会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	議第8号	令和8年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	議第10号	令和8年度焼津市水道事業会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	議第25号	焼津市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	議第30号	焼津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×

### ■「議第1号、議第30号」に対する討論の主な内容

#### 反対討論

#### 深田 ゆり子 議員

議第1号中SIC周辺拠点整備事業は、事業者が示した土地利用構想案は「農地」が削除され、準備組合役員の合意の確認や、営農者の意向が尊重されていない等から新年度に土地利用構想をまとめることは拙速すぎる。子どもたちの未来のためにも農業を

守り住民合意のまちづくりの原点に戻るべきである。

議第30号は、地方税法改正により子ども・子育て支援金を国保税に上乗せ徴収するものである。焼津市では所得割額0.27%+均等割額1,570円+18歳以上均等割額130円で、1人あたり年間3千円余の新たな負担増は反対である。

#### 賛成討論

#### 井出 哲哉 議員

上程されている全議案に賛成する立場から申し上げる。将来都市像である「やさしさ・愛しさ・いいものいっぱい 世界へ広げる水産文化都市Y A I Z U」の実現に向け、総合的かつ着実な施策を展開する予算となっている。ふるさと納税をはじめとする更な

る自主財源の確保に努め、健全な財政運営を維持するため、引き続き事業の見直し、再構築の徹底など、より一層の努力を要望し、本予算案に賛成する。

議第30号は、被保険者に対し過度な負担とならないよう、十分な検討がなされており、適正なものとして認め、本議案に賛成する。

#### 反対討論

#### 秋山 博子 議員

議第1号令和8年度焼津市一般会計予算案のうち特に産後ケア事業の歳出中、子育て支援を誇る焼津市にも関わらず、事業者への1件当たりの委託単価が近隣市に比べ最大7,600円も低いことから反対である。本案には公共調達における「ジェンダー不平

等」や「ケア労働の低評価」など未解決の構造的な問題が背景にあることを指摘したい。ケア労働は社会を支える重要な地域資源であり、公共調達には地域資源を育てる効果が期待されている。関連の予算はコストではなく道路建設と同じインフラ投資という意識変革が必要である。

#### 賛成討論

#### 吉田 昇一 議員

上程されている全議案に賛成する立場から申し上げる。令和8年度から開始する第7次焼津市総合計画は7つの政策を柱として、より一層の選択と重点化を図った予算となっている。予算執行にあたり、各事業の評価や検証を行い、財政の健全化に努め、

効果的・効率的な行政経営を進めることを要望し、本予算案に賛成する。

議第30号は、少子化・人口減少の問題は全国民にとって極めて重要な課題であり、「子ども・子育て支援金制度」の財源確保として、今回の条例改正は妥当であり、賛成する。

討論の状況は、右記2次元コードから映像配信をご覧ください。



## 令和8年度施政方針を問う



子利江田石の会 凌雲

**Q** 社会情勢の変化を踏まえ、本市を取り巻く状況や課題にどのように臨む決意か。

**A** 人口減少・少子高齢化・技術革新・環境問題など複合的課題の対応が必要。AI等のデジタル技術を活用し組織横断的なプロジェクトチームで取り組む。令和8年度を成長と飛躍への一歩と位置づけ誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める。

**Q** 第7次焼津市総合計画の強化点・転換点は何か。

**A** ポストコロナを前提に中長期的視点に立ち、持続的成長を目指す共生・好循環社会へと強化・転換する。その主な9点は、超高齢社会の対応・人口減少と担い手不足への対策・共生社会の実現と地域コミュニティの再生・地域産業の持続可能な成長戦略・老朽化への計画的対応・防災減災強化・脱炭素社会への転換・地域交通再構築・財政健全化である。

### 新病院建設に向けて

**Q** 新病院建設に向け現在の経営状況と改善の見通しと取組は。

**A** コロナ後の受療動向の変化で患者数が回復せず、物価上昇や人件費の増加により運営経費の負担が大きくなっている。自治体病院の経営実態は約8割が赤字で、経営基盤の確保が喫緊の課題。新病院建設には経営安定が前提であり、診療報酬の改定に關しては国に対し、適切な制度運用が図られるよう働きかける。医療の質を確保しながら病院全体で経営健全化に取り組む。



### 持続可能な水道事業を問う

**Q** 水道事業の経営状況と料金改定の考え方と持続可能性は。

**A** 浄水施設及び配水池の耐震化は100%を達成。基幹管路の耐震適合率は全国平均を上回る43.9%の進捗。小口径の配水管は同時期に更新を迎えるため順次整備する必要がある。人口減少に伴う水需要の低下、急激な物価高騰により令和8年度赤字となる見込みである。料金改定は、焼津市水道事業審議会の答申に沿って市民生活への影響を考慮した料金設定とした。適用時期は市民への周知を考慮し、令和8年9月分を徴収する水道料金より適用する。重要給水施設管路の耐震化を加速し、令和10年度末の耐震適合率は60.2%を達成見込み。AI活用の劣化診断、スマートメーターの導入に關する調査研究、人材育成を図り、持続可能な運営に努める。

# 令和8年度 施政方針について ～これからの焼津をどうつくるか～

## 代表 質問



自由みらい 奥川 清孝

### こども・教育政策

**Q** 不登校や発達不安を抱える子どもの増加など環境が変化化する中、子どもたちの成長支援や教育・福祉・医療がどのように連携して支援していくのか。

**A** 子どもを褒め、個性を認め、一人一人が自信を持ち成長できる社会を目指す。こども家庭センターに多くの専門職を配置し県内随一の相談体制の充実を図り専門職を含め18人体制の学校福祉部が学校と情報を共有し、必要に応じて福祉、医療へつなぎ生活困窮時など、職員が保護者と一緒に窓口同行など個々に即した対応や支援をしている。

### 健康・医療・福祉政策

**Q** 新病院建設において、地域全体で不足する機能を補完し既存の民間病院と連携を深めるという認識でよいか。また、その連携の姿をどう市民に伝え、安心感につなげるのか。

**A** 当院は、急性期医療を担う地域

の中核病院として今後も、安全で最善の医療を提供していく。

また、地域医療支援病院として周辺医療機関との連携を一層強化し、切れ目のない医療提供体制の最適化に努め、持続可能で質の高い地域医療に貢献していく。また、広報紙等で情報発信をしていく。

### 産業・観光政策

**Q** 国の海業モデル地区である新港地区の市単独用地において、一施設の誘致にとどまらず、エリア全体のにぎわいや地域経済への波及効果をどのように主導していくのか。

**A** 焼津未来デザインにおいてにぎわい交流拠点と位置付けており、本市の産業と交流の拡大を図る上で大変重要なエリアである。さかなセンターの移転検討を見守りつつ、市単独用地は未来を創る大切な土地、市民にとって意義あるものとなるよう関係者と議論を重ねていきたい。

### 防災・都市基盤政策

**Q** 大富小学校周辺の住宅系地区計画の候補地選定について、現在養鰻池の跡地で未利用地が残されている。治水や環境の課題も含め、そこから描かれる地域の将来像は。

**A** 大富地区の位置づけについては住宅系の土地利用が高い地区である。若年層の定住促進や子育て世代の流入による地域の活性化や未利用地の解消による生活環境の向上、更には将来的な人口減少の抑制に寄与すると期待している。



焼津のみらいを開く（イメージ）

## 施政方針・提案理由から 市長の政治姿勢を問う



日本共産党市議会議員団 <sup>ふか</sup> <sup>だ</sup> 深 田 <sup>こ</sup> ゆ り 子

### 保育園等の待機児童対策

**Q** 幼稚園・保育園等の北部・中部・南部のニーズでは、中部はどの年代も見込み不足。中部の認可保育園等定員増や増設はどうか。

**A** 保育需要を踏まえ、中部区域を中心に、既存幼児教育、保育施設の認定こども園の移行に向けた取り組みを進めている。

### 学校給食の無償化

**Q** 令和8年度から小学校給食無償化の実施に喜びの声が寄せられている。中学校給食の見直しは。

**A** 国からは課題の整理等を行った上で検討すると示され、今後計画的に実施されるものと考える。

### 信号機撤去しないで

**Q** 八雲通りと田子の橋東側の信号機について小学生から「信号機がなくなる」と声があった。地域ではアンケートに取り組み、小学校通学路のため子どもへの横断には信号機がないと怖い。青峯プール利用者など夏場に事故

が多くなる可能性がある。新港にさかなセンターの移設計画がありもつと交通量が増えて事故が心配等、信号機撤去に困る声が多い。市長の考え、対応はどうか。

**A** 信号機の撤去や設置管理は静岡県公安委員会が所管だが、市として、警察や関係団体で組織している焼津警察署交通規制審議会等で、地元住民のご意見をしっかりと聞きするとともに丁寧な説明をするよう要望している。



### 新病院建設 市民への説明時期

**Q** 国の現行の地域医療構想は2026年6月30日まで。新たな地

域医療構想は2026年度から2027年4月までに都道府県が策定していく。どの時点で市民の皆さんに説明できるか。

**A** 来年度にかけて基本設計の見直しを行い、国・県との協議を経て、来年度後半に取りまとめる予定。基本設計の完了後、市民の皆さまへ広報等も利用しながら、新病院の概要やスケジュールなどについて説明していく。

### 水道料金の値上げは中止を

**Q** 「物価高騰が続く中で約3割の値上げは過酷」の声は依然とある。生活と営業を守るため大井川広域水道企業団の受水費を減らし、自噴井戸や国・県・市の補助、ふるさと納税の活用等で値上げを中止すべきではないか。

**A** 地方公営企業である水道事業は料金収入などの経営に伴う収入によって、施設の耐震化等の費用を賄う独立採算制に基づいた事業運営が求められている。また、一般会計等の繰入れは地方公営企業法により制限がある。

## 令和8年度施政方針について



公明党議員団 すず き ひろ み 鈴木 浩 己

**Q** 予算編成の考え方は。

**A** 令和8年度予算については、目まぐるしく移り変わる社会情勢の中、近年にない物価高騰が重なり、厳しい環境下での予算編成となったが、本市の新たなまちづくりの指針である第7次焼津市総合計画の初年度でもあり総合計画に掲げる7つの政策を柱とし、将来への投資のための必要な事業を織り込むとともにより一層の選択と重点化を行ったところである。

**Q** 市制施行75周年という節目の意義深い新年度を、より一層の成長と飛躍の年とする7つの政策を掲げた。主な事業は。

**A** 子ども・教育分野については、小学校給食の完全無償化を実施する。また、就学援助を受けている小・中学生の保護者に対して、学校の夏季及び春季休業期間の昼食費支援金に加えて、冬季の休業期間の支援金も新たに

支給する。さらに、小学校6年生から高校1年生相当の男性が

H P V ワクチンを接種した場合の公費助成を新たに実施する。教育分野については、校内教育支援センター心の教室の体制の一層の充実や児童・生徒の1人1台端末の更新、教室のロッカー改修や体育館のトイレの洋式化などにも取り組む。

健康、医療、福祉分野については、地域医療の拠点として欠かすことのできない重要施設である焼津市立総合病院の建て替えに向け基本設計の見直し。環境分野についてはゼロカーボンシティの実現に向け、講演会の開催や中小企業の省エネ診断

費用の助成を新たに実施する。生きがい、交流、スポーツ、文化の分野については、豊田地域交流センターの令和8年7月のオープンに向けて整備を進める。産業、観光分野については、市

制75周年の節目の年として、焼津みなとまつりや焼津海上花火

大会、踊夏祭など、食をはじめとする地域資源を活かしたイベントを拡大して開催。

防災、都市基盤分野については、市民の皆様の大切な移動手段である公共交通において、焼津駅から焼津市立総合病院を経由し、大井川庁舎まで自動運転が可能となるレベル2での実証運行を実施していく。

行政、経営分野についてはテレビなどのマスコミやアンバサダーなどを活用したシティープロモーションを積極的に推進していく。



市制75周年記念事業ロゴマーク

# 市政を質す！

## 一般質問

2月定例会では、10議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧ください。



和田地域交流センター雨水貯留施設

### 水害対策について、 雨水貯留施設に対する 基本的な考え方

**Q** 今後の雨水施設の整備は。

**A** 建設中の豊田地域交流センターのほか、石脇公園や中根公園においても設置を進めている。更に焼津市立病院や小中学校、高等学校などの公共用地を活用した雨水貯留施設の整備を位置付けている。令和8年度に東益津中学校と焼津西小学校、港小学校のグラウンドを活用した雨水貯留施設の整備に向けて、対策効果の検証に取り組んでいく。



ますい よしのり  
増井好典  
(凌雲の会)



**Q** 民間土地利用事業における雨水貯留施設の設置指導は。

**A** 雨水貯留施設の設置については法令上、都市計画法の開発許可対象の場合に義務付けられているところであるが、本市では、開発行為を伴わない土地利用案件に対しても、事業者への雨水流出抑制の必要性を丁寧に説明する中で、設置の指導をしている。

### 子ども誰でも通園制度

**Q** 制度導入の目的と期待したい効果を考えているか。

**A** すべての子どもの育ちを応援することを目的にしている。この事業の実施により、保育所等に通っていない生後6か月から満3歳未満の子どもが、家庭にいないだけでは得られない様々な経験を通じて成長していくことを期待している。子育て世代の皆様との対話を通して、子育ての現場での御意見をお聞きし、子育て支援の取り組みをさらに充実させていく。

## 人口減少を踏まえた行政改革

**Q** 人口減少を前提とした行政改革の基本的な考え方は。

**A** 複雑化・多様化した課題に的確に対応するために、行政改革をさらに強化し、効率的かつ持続可能な行政経営が必要である。

これまでの個別・部分的な改善にとどまらず、ゼロベースで業務の目的・手段・流れを抜本的に見直し、根本から再設計するBPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング）の視点が不可欠である。AIの活用による行政のDX化、プラスの行革による財源確保、公共施設マネジメントの推進、官民連携などの民間活力の活用、人材の育成などをさらに強化するため、新たな行政改革の方針となるプランの策定を進めていく。

**Q** クラウドファンディングなど新たな財源確保策は。

**A** 企業誘致による税収増のほか、国や県の補助金の活用、公共施設の整備・運営における民間資



うちだしゅうじ  
内田修司  
(凌雲の会)



**Q** 金の活用、クラウドファンディングの導入、企業版ふるさと納税の充実など、検討をしていく。採用方法の工夫など、職員確保に向けた採用の考え方は。

**A** 焼津市を受験してもらう、選んでもらうために、本年度、市の職員として働く魅力ややりがいなどを伝える動画とパンフレットを作成した。これらを活用し、職員採用のPR活動を強化していく。受験しやすい環境づくりと積極的な情報発信により、質の高い、安定した人材確保に努めていく。

### 地場産品の開発にCFを活用しませんか



クラウドファンディング型ふるさと納税  
(市HPより)

## 焼津みなとマラソンへの期待

**Q** 関東インカレのハーフマラソン共同開催に期待するところは何か。

**A** 本市において、箱根駅伝を控えた国内最高峰の学生ランナーによるレースが展開されることで焼津みなとマラソン大会の全国的な認知度をさらに高めるとともに、本市の知名度向上、また、地域のにぎわい創出に一層寄与できるものと考えている。これまでの大学対抗ペアマラソンの実績を評価していただき、焼津市制75周年の記念すべき年にこのような伝統と権威のある大会を本市で開催することは、まさに歴史的なことであり、大変栄誉なことだと思っている。

## 焼津市教育大綱の推進

**Q** これからの本市の教育をどのような思いで進めるのか。

**A** これからの時代を生きていく子ども達にとって大事なことは、「子どもが自分で考え、自分で判



むらたまさはる  
村田正春  
(自由みらい)



断して、自分から行動する」とだ。時には失敗することも、間違うこともある。分からないことも、困ることもある。そういう時にどうしたらいいのか、何が問題なのか、と考えて課題を見つけていくのが大事。子ども達が学校の中で失敗や間違えをしても大丈夫、分からないことがあって当たり前。そういう安心感を持って生活し、自ら考え判断し、仲間と協働することで幸せや生きがいを感じて、「優しく、強く、愛しい人」に成長していくように、本市の学校教育を推進していきたい。

第3期

### 焼津市教育大綱

令和8年度～令和11年度



やさしく つよく  
いとしい人

静岡県焼津市

第3期 焼津市教育大綱

## 地域の活性化と環境・安全は住民の声の尊重を

**Q** スマートIC周辺の民間開発に住民の意思は尊重されたか。

**A** 住民の理解を求めていくことが必要と焼津市基本計画に定めている。地域住民の声を尊重して計画に反映していくのは基本的には事業者の責務だ。

**Q** 地域経済牽引事業計画は承認されたのか。

**A** 上新田地区では、立地予定の1社について昨年12月承認した。

**Q** 農地除外の「まちづくり」土地利用構想は準備組合役員全員の合意は得られていないのでは。

**A** 全ての案件については役員会で協議され、承認されている。

**Q** このまちづくりは市街化区域編入が絶対条件と資料にある。それでいいか。

**A** 今後のまちづくりの検討及び県との協議を進める中で整理されていく。

**Q** 市街化調整区域の住宅制度は開発工リアの青地を開発対象から外す。これは行政の基本姿勢か。



すぎたげんたろう  
杉田源太郎  
(日本共産党市議会議員団)



**A** 青地は農業の振興に必要な土地で原則農業以外の利用は制限されていることは認識している。



## JR東海と県のリニア補償問題確認書は解決にならない

**Q** 補償確認書締結で市民の命の水問題は解決したということか。

**A** 国の立会いは大変心強い。今回の確認書の意義はそこにある。

**Q** 水が戻せない場合の費用負担補償とは誰が何を行う費用か、金銭で補償はできるか。

**A** 補償確認書に基づき、JR東海が機能回復措置を講じ、困難な場合は費用負担等の補償を行う。

## 介護人材不足の現状

**Q** 介護人材不足の現状と影響は。

**A** 職員募集を行っても人材が集まりにくく、新たな人材確保が難しい状況。事業の縮小や休止も見られるが、他の事業所やサービス利用により、現状では提供体制に影響は及んでいない状況であると認識している。

**Q** 人材確保・育成の取り組みは。

**A** 介護未経験者を対象とした研修や職業体験を実施。令和8年度は静岡福祉大学と連携し、実務的な研修や資格取得支援について有効な支援策を検討していく考えである。

**Q** 高齢者の見守り体制の方向性は。

**A** 民生委員等による訪問や地域交流の場への支援に加え、対面による配食サービスや緊急通報システムの利用支援などにより見守りを実施。今後は民間事業者のサービス活用も含め体制強化を図っていく必要があると考えている。



しのみやしんいち  
四之宮慎一  
(凌雲の会)



## 季節の変化に伴う熱中症対策

**Q** 熱中症対策の考え方は。

**A** 近年の気温上昇を踏まえ猛暑を災害と捉え、高齢者や障害者・子どもを中心に対策を推進。涼みどころは103か所設置し、周知啓発を継続して実施しているところである。

## 国民健康保険財政の現状

**Q** 国保財政の現状と見通しは。

**A** 医療費増加等により基金残高は減少傾向。今後は事業費納付金の増加も見込まれ、国保財政は厳しくなると見込まれる状況であると考えている。

## 焼津市 居場所ガイドブック



市内で実施されている居場所の取り組みをまとめたガイドブック  
(焼津市作成)

## HPVワクチン接種の副反応に十分な注意喚起を



あきやまひろこ  
秋山博子  
(無党派)



**Q** HPVワクチンは子宮頸がんを予防するとして承認され、小学6年生から高校1年生の女子を対象に2013年から定期接種が始まった。当時市内に重篤な副反応被害者があり市では相談体制を整えている。重篤な副反応とはどの程度の症状なのか、治療は確立されているのかなど多くの人が知る機会が少なく、接種するかどうかを判断するのは難しい。これらの情報を重要な注意喚起として市のHPに載せる必要があるのではないか。

**A** 市のHPから厚生労働省の該当ページに直接アクセスできるリンクを設定し、案内通知に留意事項の説明書を同封するなど適切な情報提供に努めている。今後も最新情報を伝え、接種を検討いただける環境を整えていく。

**Q** 子宮頸がんは検診で予防できる珍しいがんであることから検診率の向上が求められる。受診率の検証を生かした対策と効果はどうか。

**A** 令和5年度実態調査によると検診を受けない理由に、健康だと思っから、忙しいから、面倒だから、などもあり、がん検診のメリットを伝えても受診行動につながらないことが分かった。

新たな対策としてNHKとコラボした「虹のプロジェクト」に参加し受診勧奨通知を送付したが受診率は3%にとどまっている。若い時から子宮頸がんについて理解を深め、検診の大切さなどの啓発を進めることが大事だと考えている。



出典：「HPVワクチン ほんとうのこと／HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク発行」

## 大井川河口野鳥園の新たな展開と地域づくり



よしだしょういち  
吉田昇一  
(自由みらい)



**Q** 大井川河口野鳥園の廃園の方針に至った背景は。

**A** 施設本来の機能を發揮することが難しく、維持管理費用は増加しており廃園の判断に至った。

**Q** 廃止する範囲はどれとどれか。

**A** トイレと展望台も廃止の方針。

**Q** 地元意見・パブリックコメントをどう活かしていくか。

**A** パブコメでは学びの場を求める声等、地元からはトイレ等の整備の要望をいただいた。大井川港周辺の計画検討で参考とする。

**Q** 大井川港の魅力向上の展望は。

**A** 令和9年3月予定のクルーズ船初寄港をさらなる発展の契機と捉え港湾計画の見直しを進める。



廃止の大井川河口野鳥園トイレ等

## 農地への企業誘致と地域経済の活性化

**Q** 産業振興と農業振興の両立は。

**A** 地域未来投資促進法に基づく規制緩和を受けながら大規模投資を呼び込む一方で、スマート農業の推進や農地の大区画化等で農業生産額の増加を図っていく。

**Q** 新たな重点促進区域の追加は。

**A** 進出・立地のニーズを的確に捉え、重点促進区域の追加に伴う基本計画の変更を随時行い、企業誘致を推進していく。

**Q** 市の住民説明会は実施されるか。

**A** スマートインターチェンジ付近の開発事業では連携協定を締結している立場から、住民要望により説明会を実施した。

## 準用河川等の治水

**Q** 高新田の浸水被害の認識は。

**A** 高新田地区は現時点で計画されている対策事業にはないが、大雨時に問合せ等確認し調査する。

## 人口減少対策における住宅施策

**Q** 施策の具体的な内容は。

**A** 四つの施策を考えている。一つ目は、立地適正化計画の住まいのエリア内への住宅地の供給促進策として、宅地分譲開発事業に対する補助制度を予定している。二つ目は、都市計画法に基づく条例を活用するもので、シーガルドーム周辺及び焼津市立病院周辺を想定している。三つ目は、優良田園住宅制度を活用するもので、大井川庁舎周辺やグランリバー大井川周辺を想定している。四つ目は、市街化調整区域に地区計画を適用するものであり、大富小学校周辺を想定している。これら新たな住宅地の確保策をはじめ、子育て支援策や住宅取得支援策、中古住宅流通策など重層的な取り組みを行い、移住定住人口の拡大を図る。

**Q** 市街化調整区域での住宅施策は青地農地も対象とすることができるとののか。

**A** 青地農地は対象外である。

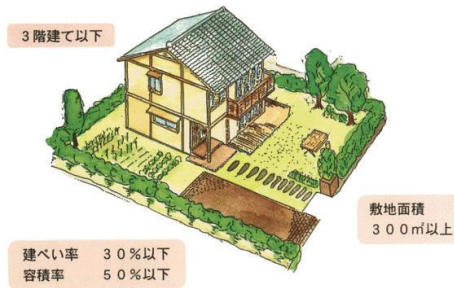


いでてつや  
井出哲哉  
(凌雲の会)



**Q** 施策により自由に建築可能か。

**A** 都市計画法や農地法、その他関係法令などを含め、厳正な審査を行う。



優良田園住宅  
(国土交通省ホームページより)

## 外国人とつながる住民との地域共生

**Q** 今後の交流・共生施策は。

**A** コミュニケーション支援や文化交流の場の創出のほか、地域活動への参加促進を進める。また、新たな取り組みとして、共生の社会づくりに向けて、所要の経費を当初予算に計上し、取り組んでいる地域を支援する。

## 関係人口拡大や二地域居住促進は人口社会増に寄与するののか

**Q** 焼津市がこれまで行ってきた移住定住施策の社会増への寄与は。

**A** 子育て世帯向け住宅取得補助金や移住者向け就業支援金、移住定住支援サイトによる情報発信、移住体験ツアー以外に、保育無償化や医療費助成など子育て環境強化が社会増に繋がっている。

**Q** 総合戦略で設定した目標人口に対する進捗はどうか。

**A** 令和7年末で達成率99・9%。

**Q** 二地域居住促進事業はどのようなに移住や定住につながるののか。

**A** 焼津への訪問・体験を重ね、本市で仕事を持ち、地域コミュニティに溶け込んだ二地域居住者に対し移住を提案していく。

**Q** ターゲットを都市部で働くスタートアップや経営者層、若者・子育て層を中心に何かにチャレンジしたい層としている理由は。

**A** 二地域居住者には地域の担い手、潜在的移住者として関わってほしい。「チャレンジしやすい街」として全国から選んで頂くため。



ふじおかまさや  
藤岡雅哉  
(無会派)



**Q** 「つづのやいづクラブ」の目的と成果目標は。

**A** 関係人口拡大と会員登録数3千人の早期達成。

**Q** 各事業を移住につながるには、難易度が高く感じる。成果見込みによる早期判断の考えはどうか。

**A** 首都圏から人を呼ぶには全国と競合し、すぐに移住につながるにはハードルが高い。そこで関係人口施策、二地域居住施策を通じ焼津と関わりある方と関係性を深め、二地域居住者、更には潜在的な移住者として育成し、長期的視点で取り組んでいきたい。



二地域居住とは  
(国土交通省ホームページより)

## 焼津漁港、大井川港の津波対策、防災対策

**Q** 開口部や河川からの侵入、逆流に対してどこまで対策が講じられているか。

**A** 小石川津波対策施設の整備に必要な河川基本方針と河川整備計画の策定、黒石川と木屋川は、河川整備計画の変更を進める。黒石川雨水幹線は、水門整備の基本設計が完了し、整備に向けた施工計画の検討を進めている。志太田中川は胸壁整備の進捗を踏まえ津波対策の検討を進める。以上を静岡県に確認している。

**Q** 気候変動や地球温暖化に伴う海面上昇に対してどう考えているか。

**A** 静岡県において、将来的な気候変動による影響を踏まえた海岸保全基本計画の見直しを検討されている。そのため施設整備への反映については、今後国や県の動向を注視しながら確認する。焼津漁港、大井川港の将来像をどのように描き、防災と漁港、港湾機能の両立をどのように図っていくか、中長期的な考えは。



原崎洋一  
(自由みらい)



**A** 焼津港、小川港、大井川港の三つの港は水産文化都市としての本市の発展にとって重要な施設であり、津波対策は大きな課題である。漁港・港湾施設を守ることが本市の産業を守り、ひいては市民の生命、財産を守ることにつながると認識している。焼津地区特定漁港漁場整備事業計画に構想として明記された港口水門については、引き続き事業化されるよう取り組む。また、大井川港については、物流生産拠点として機能強化と津波対策の胸壁整備を進める。



焼津漁港（小川港）に注ぐ前の川

## 意見書



議会の意思を意見としてまとめ、国会や関係する省庁に意見書として提出をするものです。

下記に一部を抜粋して掲載しておりますので、全文をご覧になりたい方は、左記の二次元コードを読み込んでご覧ください。

### 米国・イスラエルおよびイランに対して即時の軍事行為停止とホルムズ海峡の航行安全確保、国際法に基づく平和的解決を求める意見書

1. 米国・イスラエルおよびイランに対して、国際法に従った即時の軍事行為停止と、平和的解決に向けた交渉への早期復帰を働きかけること。
2. ホルムズ海峡の封鎖による国際物流および我が国のエネルギー供給への影響を踏まえ、国際社会と協調しつつ、外交的手段により航行の自由と海上交通の安全確保を強化すること。
3. 中東地域の緊張緩和に向け、全ての関係国との対話を重視し、国際法と国連憲章の原則に基づく平和外交を積極的に推進すること。

地方自治法第99条の規定により提出する。

焼津市議会

<提出先>

衆参両院議長、内閣総理大臣、外務大臣

## 小・中学校の1人1台端末を更新

～ICT活用による持続的な学びの環境を提供～



現在の焼津文化会館の外観

### 令和7年度 補正予算

#### 焼津文化会館大規模改修事業(債務負担行為)

**Q** 大規模改修事業の内訳は。

**A** 今回の債務負担行為の変更は、不調となった建築工事関連部分について減額をするものであり、残額の7千7百万円は、舞台幕の維持管理を行うものである。  
**Q** 今回の不調による工期への影響はあるか。

**A** 改めて積算し、建築工事関連予算を提出させていただく予定であるが、工期については、当初予定していた令和9年度よりも遅れることも想定している。

### 河川愛護事業費

**Q** 減額となった理由は。

**A** 土のう袋等の回収について、当初約7万袋を見込んでいたが、事業の進捗を整理し、約6万3千袋で対応できることとなったため、その分が減額となった。

### 産業立地促進事業助成費

**Q** 当初予算の60%が減額となっているが、進出を予定した企業が計画を変更したのか。

**A** 当初9件の補助金交付を予定していたが、昨今の物価高騰等の影響で企業からの申し出により6件が来年度以降へ延期となった。

### 勤労者住宅資金貸付事業費

**Q** 減額に至った状況は。

**A** 令和3年度から新規の受付を停止しており、期間が10年間となっているため、毎年期限が到来したのものについては減額となっていく。また、繰上返済を行う方もいるので、その場合も減額となる。

### 令和8年度 当初予算

#### 小・中学校教育ICT環境整備事業費

**Q** 購入するパソコンの台数は。

**A** 予備機を含め、全部で1万271台を購入する予定である。

**Q** 端末にあわせて、ソフトウェアも更新するのか。

**A** 端末自体にソフトウェアが入っているのではなく、ネット上で使用しているため、特に更新はない。

**Q** 引き続きChromebookを使うのか。

**A** 引き続き使う。



## DX推進事業費

**Q** スマートロックを設置する施設、目的、金額は。

**A** 設置は、各小学校の体育館とグラウンドのナイター施設、漁船員テニス場、大井川体育館、田尻スポーツ広場を予定し、鍵をスマートロックにすることで、施設のキーボックスを開けて鍵を取り出し、開錠することができ、そのため、施設予約から使用まで、インターネットを通じて、どこかへ行かなくても利用できるようにすることを目的としている。導入費用は、約1300万円を予定している。



## 校内教育支援センター（心の教室）事業費

**Q** 予算が増額している理由は。

**A** 令和7年度は、6時間勤務と4時間勤務の学校があったが、令和8年度は、全校で6時間勤務とすることによる。



## 困りごとマルっとサポート（重層的支援体制）事業費

**Q** 完結する事案と継続的支援となる事案の割合はどうか。

**A** 令和7年度について、25世帯の約70人を会議にかけ、4世帯の約16人が完結となった。それぞれの支援が、子ども、高齢者、障害、困窮という形で確立している中で重層的事業を行うという事は、制度に落とせる状態になったところが完結ということになる。

## 可燃ごみ収集事業費

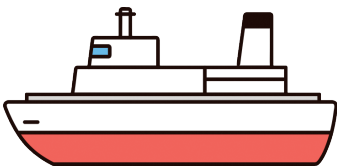
**Q** かなりの額が増加しているが、増額の根拠は。

**A** 「クリーンセンター志太」として仮宿へ移転する清掃工場が、令和8年9月からの試運転を経て、令和9年1月から本格稼働となることから、今まで高柳と一色に運んでいたものが、全て仮宿に運ばれるため、収集運搬距離の増加、車両台数の増加、作業員の増加などを見込み、可燃ごみ収集運搬事業の委託料が約1億7400万円の増額となっている。

## クルーズ船誘致事業費

**Q** 予算の内訳は。

**A** 委託料として1780万円、その他旅費等で約27万円となる。



**Q** 具体的に委託するイベント内容の想定はあるのか。

**A** イベントの具体的な内容は詰まっていないが、委託料には、イベント開催経費以外にも、セキュリティ関係の経費なども含まれているので、その中での開催となる。

## 公園施設長寿命化対策事業（社交金）（防災安全）

**Q** 清見田公園噴水施設のリニューアル工事のスケジュールは。

**A** 2回に分けて工事を行う予定で、令和8年度の夏までは使っていないが、秋から工事に入る。令和9年度は、残りの工事を行うため、1年間の休止となる予定である。



現在の清見田公園噴水施設

## 豊田地域交流センターの供用開始に伴い条例を改正

～豊田地域交流センターの位置の変更及び使用料の改定～

### 《総務文教常任委員会》

焼津市地域交流センター条例の一部を改正する条例の制定(豊田地域交流センター)

**Q** 今回の改正により、和室の使用料金が下がり、大集会室の使用料金は上がっているが、使用料の算定基準は。

**A** 内規で部屋の面積により使用料の基準を定めており、大集会室は面積が大きくなり、和室は面積が小さくなったことが影響している。

**Q** 今回の改正により、料理実習室の使用料が減額された理由は。

**A** 以前は、部屋の面積に加え調理設備等も加味して使用料を算定していたが、建て替えを機に、部屋の面積のみによる算定としたことから減額されている。



### 《市民福祉常任委員会》

令和8年度焼津市国民健康保険事業特別会計予算案

**Q** 約6億円の基金の取り崩しを行った要因は。

**A** 療養給付費の3億円の増額や医療給付費分に係る県への納付金の増額などが主な要因である。

**Q** 基金残高の見込額は。

**A** 令和7年度末の見込額約7億5千万円に対して、令和8年度末の見込額は約1億6千万円である。

令和8年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計予算案

**Q** 保険料収入が前年度に比べて2億円近く増えている要因は。

**A** 静岡県後期高齢者広域連合の定めに従い、2年ごとに保険料率の改定を行うことになっており、令和8年度に保険料率が改定されるためである。

### 《建設経済常任委員会》

焼津市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定

**Q** 料金改定後の県内23市における水道料金順位は。

**A** 日本水道協会の指針に基づき口径13mmで10m使用した場合で比較すると、現在は県内23市で2番目に低い料金であるが、料金改定後は5番目に低い料金となる。また、改定後の基本料金は県内の平均程度である。

**Q** 基本料金の改定率が量水器の口径により異なる理由は。

**A** 市の出資金相当分を充当することにより、一般生活者が主に使用する口径が小さいものに関しては、それ以外のものに比べ、基本料金の改定率が約2・6%低くなっている。



## まちづくり市民集会 開催!



令和7年12月13日、第12回焼津市自治基本条例まちづくり市民集会大ワールドカフェが焼津文化会館で開催され、「語ろうLOVEやいづ 広げようLOVEやいづ」をテーマに、多くの市民とまちづくりについて意見交換を行いました。

## 新しい副議長、監査委員が決定



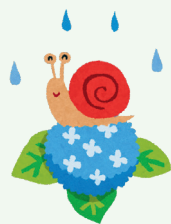
副議長  
川島 要



監査委員  
河合一也

2月定例会の第1日(令和8年2月16日)に副議長の選挙、監査委員の選任が行われ、副議長に川島要議員、監査委員(議会選出)に河合一也議員がそれぞれ選ばれました。

## 6月の市議会



日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPなどでご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。



焼津市議会HP

日	曜日	内 容	開会時間
6/1	月	本会議 (議案の上程)	9:00
6/16	火	本会議 (一般質問)	9:00
6/17	水	本会議 (一般質問・質疑)	9:00
6/18	木	委員会	9:00
6/26	金	本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)	9:00

編集

やいづ市議会広報特別委員会

内田修司、原崎洋一、鈴木まゆみ、井出哲哉、増井好典、川島要、深田ゆり子